



2021年（令和3年）2月15日

「みて、みて！チューリップの芽が出ているよー。」とAちゃんが嬉しそうに教えてくれました。まだまだ寒い日もありますが園庭の木の芽や花のつぼみも少しずつ膨らみはじめています。進級を控えた子どもたちの姿も随分大きくなったなと感じさせてくれる今日この頃です。

さて、先週金曜日には今年2回目の「ことばの相談室であそぼう」がありました。子どもたちにとって、“いつもは行けないけれど今日はちょっと特別に行ける日”と楽しみにやってきました。遊びの様子を少しお知らせします。

お口のたいそう

ねらい：滑らかに舌を動かす感覚をつかむ。

舌を出したり入れたり、上下左右に動かしたり、パタカパタカと連続で3回言ったりと舌がしなやかに動くようにと真剣に練習しました。舌の動きは発音するための大切な器官です。ミカンの身と種を分けること、魚の骨を口の中で分けて取り出すことも、舌の働きのひとつです。



耳より情報～あるテレビ番組で放送されました～

コロナに負けないぞ！お口のケアで免疫力アップ！

口から免疫力をあげるには、よく噛んで唾液を出すこと。口の中が乾燥すると、虫歯や歯周病菌、そして、ウイルスまで寄せ付けてしまいます。唾液を増して口の中にバリアをつくる「舌の体操」「パタカ体操」も、免疫力アップに効果ありということです。ぜひ、お子さんと一緒にやってみましょう。

ひっくり返しゲーム

ねらい：ルールがわかり、友達と一緒にゲームを楽しむ。

赤・白2チームに分かれてチームの色を増やしていくゲームです。自分たちでグループを作り、チームの色も決め、エイエイオーと士気を高めてゲームを開始しました。意外に返す色を間違えることなく鈴の合図がなるまでひっくり返していました。自分たちで数を数えて勝敗の確認もしました。勝つと大喜び、負けるとくやしーと気持ちをあらわにしていました。負けがなかなか受け入れられない子どもも、経験を積むことで負けを認められるようになります。勝ち負けのあるゲームを楽しめることは、集団生活をしていくうえで大切な力になります。

